

キンダーブック2 7月号

表紙の
絵から

七夕飾りを作る蛸さんを、かにさんが自慢のはさみをつかって、お手伝いしてくれました。ちょうちん飾りを明るくしている蛸さんにも注目です。短冊にはどんな願いごとを書くのかなど、七夕の行事について話題を広げられるとよいですね。



すいかと メロン くらべっこ!

それぞれの違いに注目しながらじっくり観察してみましょう。

写真を見て、それぞれの特徴や気づいたこと、知っていることなどを子どもたちに自由に話してもらいましょう。実のつき方や模様の現れ方は、写真を見ながら紹介するとわかりやすいです。



実物が用意できるのであれば、見た目、色などの違い、実物でしか体験できない味や重さ、におい、手触りなど、五感をめいっぱい使って比較できると楽しそうです。

すいかとメロンのどこが違うかを絵などで視覚的に表してもよいですね。ほかにも、クレヨンと色鉛筆、ぶらんことすべり台など、身近な物をじっくり観察してくらべっこしても楽しそうです。



ゆうきを だして

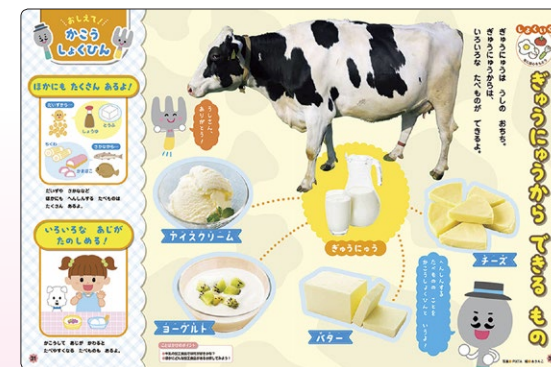


➤ **ねらい** 苦手なことにも勇気を出して挑戦してみましょう。

➤ **つかい方のポイント** 苦手なことをがんばりたいという気持ちが、びいまくんの表情から伝わってきますね。その勇気にみんなで拍手をするなど、びいまくんをほめてあげましょう。生活のなかでは、苦手なことでも見通しがもてると挑戦しやすくなりますね。



ぎゅうにゅうから できる もの



➤ **ねらい** ひとつの材料がさまざまな物に変身することを知しましょう。

➤ **つかい方のポイント** 身近な加工食品について紹介しています。原材料はいっしょでも、加工のしかたによってまったく違う物になる不思議さを知りましょう。ほかにどんな物があるか話題を広げ、興味関心につながるきっかけにできるとよいですね。

「キンダーブック2」を 保育にご活用ください!

絵本をつかった指導計画の文例



カレンダーがついた
行事コーナーの誌面が
ダウンロード
できます!

<https://kinderbook.froebel-kan.co.jp/DL/kb2/>

コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域	10の姿
かんさつ 「すいかとメロンくらべっこ!」 	<ul style="list-style-type: none"> ふたつをじっくり見て、違いに気づく。 違いを見つけることの楽しさに気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもからの気づきを待ち、保育者からは答えを言わないようにする。ささいな違いでも気づいたことを肯定的に認めるように心がける。 じっくり観察すると、さまざまな気づきがあることを伝える。 	言葉 表現	<ul style="list-style-type: none"> 思考力の芽生え 言葉による伝え合い
かんがえ 「どんないろになるかな?」 	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身で発見する喜びを感じる。 色のしくみを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが自ら発見し、気づくことをたいせつにする。できた色は写真を撮ったりして、いつでも見られるようにしておき、もっとやってみたいという探究心が芽生えるきっかけにもつなげる。 環境としていつでも実験できる場所や作った物を残せるスペースを確保する。 	言葉 表現	<ul style="list-style-type: none"> 思考力の芽生え 数量・図形、文字等への関心・感覚 豊かな感性と表現